

第9回奈良のお薬師さん大賞 被表彰者

◇ いちむら ゆみこ 市村 由美子 さん（奈良市在住） 東大寺福祉療育病院 看護育成局長

昭和53年から約45年間、急性期や慢性期、障害児に対して看護職としての経験を積んでこられました。特に障害のある人が地域において安心して生活できるための支援について学び、現在の東大寺福祉療育病院では、長期入院中の重症心身障害児童が併設した学校で安心して授業が受けられる環境づくりや看護師による見守り、学校へ行くための体調の整え方についての指導を続けておられます。

また、障害を持ちながら在宅生活のなかでの急変時の入院体制づくりや、今後予想される状態等について、家族を交えた連携体制の取り組みを進められており、社会全体で障害児や家族を支える体制づくりにご尽力されています。

◇ よしだ みか 吉田 美香 さん（橿原市在住） 医療法人榎の木会 さわやか歯科 院長

近年、大きな社会問題となっている児童虐待に対して、歯科医師の立場から多様な支援活動を行っておられます。平成23年に奈良県より依頼された歯科医師向けの「児童虐待予防マニュアル」作成や普及に努めるとともに、児童養護施設や認可外保育施設等への歯科ボランティアを実施したり、育児に悩む保護者の支援として管理栄養士を交えた親子料理教室を開催したりするなど、地域における児童虐待防止に積極的に取り組まれております。

また、インクルーシブ診療や長期在宅療養児の訪問診療など、障がい児の歯科治療についてもご尽力されています。

◇ よしむら あつし 吉村 淳 さん（橿原市在住） 南和広域医療企業団南奈良総合医療センター 副院長

南和地域において長年「がん診療」の充実に取り組んでこられました。がんの診断治療が地域で安心して受けることができるように診療体制を整備し、緩和医療の普及とチーム医療の推進に取り組まれました。禁煙外来を開設して禁煙の支援などを行ってこられました。近年重要視されている口腔ケアにも目を向け地域歯科医師会との協力体制の構築にも努められました。

また、「災害医療」においては、南和地域の災害拠点病院である南奈良総合医療センターの災害対応責任者として、地域の災害対応能力の向上にも尽力されております。「がん」「災害」に関する市民公開講座や出前講座などによる啓発活動、医療者を対象にした研修会なども積極的に行ってこられました。